

# 『大上地区社協』ニュース



■ No.93

■平成28年10月発行

■大上地区社会福祉協議会

■発行責任者 市ノ澤 寅夫

## “笑いとおしゃべりいっぱい市”で秋の一日を楽しむ 10月2日(日)に深谷大上ふれあいの家と柳川広場で

大上地区社協は、今年も“笑いとおしゃべりいっぱい市”を10月2日(日)に深谷大上ふれあいの家と隣接する柳川広場、そして今回も地元の見上喬さんのご協力で隣接地を臨時駐車場として行ないました。

笑いとおしゃべりいっぱい市は今年で6回目を迎え、今回も7月に就任された古塩市長や笠間前市長、増田市社協会長を始め、地元選出の衆議院議員の甘利代議士、綱嶋県議や市議の内山議員などの来賓と共に、綾瀬市内13の地区社協会長にも声を掛け、地元大上の皆さんが中心に400人が参加して、午前10時から秋の一日を楽しんでいました。

当日は晴天に恵まれ、会場入口に手作りのかかし46体と38体の人形、そして皆さんが願いを込めて作った4,300羽の折鶴が出迎え、来場された皆さんは心温まる歓迎に感動していました。特にかかしは、北の台小学校5年生全員の69名が9月27日(火)の授業で作った10体の個性豊かな作品も飾られ、会場を盛り上げていました。その会場では大上すいとん、焼き鳥、ふかし芋、フランクフルト、赤飯やビール等も格安で販売され、皆さん買い求めて仲間と飲食しながら談笑していました。

また、特設ステージでは大上太鼓クラブの熱演から始まり、さくら会の着物リフォームのファッションショー、大上地区社協のメンバーによる仮装ショーも披露され、会場から盛んな拍手を得ていました。そして君佳会ともみじ会の皆さんによる踊りも披露。続いてさくら会のフラダンスと踊りも披露され、最後はスタッフ全員がステージで「青い山脈」を合唱して午後3時に盛り上がったままフィナーレとなりました。

そして会場では、今回も地域の皆さんの手作りの洋服や小物入れ等のフリーマーケットも開かれ、皆さん好みの品を買い求める一方、会場に隣接する安産・子育て・出世の守り神の地蔵尊も地域の協力で特別にご開帳され、皆さん賽銭をあげて手を合わせていました。



6回目を迎えた今年の会場



大勢の来賓を迎える



会場入り口にはかかし、人形、折鶴が皆さんをお出迎え



ステージを見入る皆さん



着物をリフォームした作品も展示



最後はステージでスタッフ全員が「青い山脈」を合唱



特設ステージで：左から大上太鼓、さくら会のファッションショー、大上地区社協の仮装、もみじ会の踊り